

## 令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時間	担当教員
基礎	1	マーケティングA ※後期に福山市内で同一内容の開講あり	<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。そのため、本講義では、伝統的マーケティングマネジメントだけではなく、近年重要性を増してきている、顧客志向、関係構築、グローバル化、情報化社会とマーケティングをテーマとする。講義で扱う事例は広範囲にわたっており、そこからマーケティングそしてその基本的プロセスを体系的に習得する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 マーケティング入門を受講されることが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p> <p>【履修条件】 本科目には履修条件はありませんが、「マーケティングA」の履修が「マーケティングB」(後期開講予定)の履修条件となるため、履修を検討している方は「マーケティングA」を先に履修ください。</p> <p>※「マーケティングA」は広島キャンパスと福山市内で同一内容のものを二回開講する予定であり、今回の募集は広島キャンパス開講のものです。福山市内開講の「マーケティングA」については、後期開講予定です。後期科目の募集は8月以降に案内致します。</p> <p>○福山市内「マーケティングA」 ・日程:10月8日(日)、10月9日(月・祝)1~4限(予定) ・場所:福山市内(未定)</p>	1年	1	第1クォーター 隔週前半 (4月~6月)  【広島キャンパス開講】	火曜	6・7限	江戸克栄
基礎	2	マーケティング演習	<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。そのため、本演習では、伝統的マーケティングマネジメントだけではなく、近年重要性を増してきている、顧客志向、関係構築、グローバル化、情報化社会とマーケティングをテーマとして、議論やディスカッションを行う。ここで扱う事例は広範囲にわたっており、そこからマーケティングそしてその基本的プロセスを体系的に習得する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 「マーケティングA」を履修すること。マーケティング入門を受講しておくことが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p>	1年	1	第1クォーター 隔週後半 (4月~6月)	火曜	6・7限	江戸克栄
基礎	3	中四国経済	<p>第1・2回目:中四国圏域における経済発展の歴史や国土交通省の国土計画に基づく中四国エリアのインフラ、経済スケール、圏域の現状と課題などをマクロ的視点で包括的に理解する。</p> <p>第3・4回目:中四国圏域内の主要都市の経済圏域(都市圏、商圏、交流人口など)と、相対的な位置付け(都市力評価、地域力評価)の評価と、各自治体の掲げる都市圏構想等について、都市形成の基本理論(都市経済学、統計学など)に基づきミクロ的視点で理解する。</p> <p>第5・6回目:産業連関計算、人口配置、海外事例(例えばドイツなど)も参考に、地域の経済発展をプランニングする上で役に立つ手法を学び、実習する。 ※ここで学んだ手法等を活用し、テーマ設定、グループ分けを行い、4日目の課題(自ら考える経済発展方策)を課す。</p> <p>第7・8回目:将来に向けた課題解決として、特に広島県の物流課題や産業構造の現状を踏まえ、方策を考える。なお、学生自らが課題解決に向けた方策の提案(グループでのプレゼンテーション)を行い、試験とする(受講人数によっては個別の提案資料の提出とする)。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 何かを学ぶというより、ともに考えるという姿勢で積極的に参加してください。毎回、事前に読んでおいて欲しい文献等紹介と、講義後の簡単なレポート(500字程度)を課す予定です。</p>	1年	1	第1クォーター 隔週後半 (4月~6月)	金曜	6・7限	高橋 龍二
専門	4	特別研究C(経営のリスクマネジメント)	<p>企業経営に必要なとされるリスクマネジメント知識の習得とその活用に関わる意思決定の在り方を学習する。事業会社を取り巻く様々なリスクへの対処、新規案件の投資判断等、に必要なとされるリスクマネジメントリテラシー、財務リテラシー等を様々な実務事例(ケーススタディ等)を通じて習得することを目指す。講師の実務体験に基づいた、国内外における各事業にて対応した様々なリスク(金融危機、通貨危機、流動性危機、コンプライアンス事案にかかわる危機等)や国内外における新規事業の立ち上げの事例紹介等を通じ、リスクマネジメントの実務等を学習することが特徴である。一般的にこれらの事業は、大企業の経営幹部が意思決定の際に必要な経営リスクマネジメント分析と考えられるが、中小企業やベンチャー企業等の経営人材にこそ習得してもらいたい科目である。具体的な事業案件(ケース事案、含む様々な日経新聞の記事等)を元に、毎回、様々な意見交換やグループワーク等を行う。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 基礎科目におけるアカウンティングやファイナンスの知識を活用する。講義の内容や講義内で紹介する日経新聞等の経済記事を通じ、世の中の経済現象(含む身の回りの出来事等)を「我が事」として理解し、企業を取り巻く様々なリスクに関わる知識(見える化ほか)を学び、企業経営を継続的に実行できる経営力を体得する事を旨とする。</p>	2年	2	第5クォーター (4月~6月)	火曜	6・7限	七田良彦

## 令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時間	担当教員
専門	5	社会イノベーション	<p>社会を変える社会イノベーションの取り組みやその担い手である社会起業家は、決して特殊な成功事例や歴史的英雄のような人物のことではない。身近な出来事から社会的課題に気づき、ユニークな視点から解決の糸口となるアイデアを発想し、持続可能な事業モデルを構築する。生み出された新たな事業モデルはどのように広まっていくのか。「アショカ」を始めとした代表的な支援機関による社会起業家の概念定義、国内外の社会イノベーション・社会起業家研究の系譜、イノベーション普及論の観点からの事例研究等について講義するとともに、第一線で活躍する社会起業家をゲスト講師に招く機会を設け、社会イノベーションおよび社会起業(家)について理論と実践の両面から理解を深める。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 本講義は座学中心であるが、知識と実践の両面から社会イノベーションへの理解を深める趣旨であるため、自身の経験や興味関心をもとに、主体的に事前学習・復習・授業参加ができることが望ましい。 ※ゲスト講師調整の都合により、授業計画に記載した講義内容の順番とゲスト講義日程は変更となる可能性がある。</p>	2年	2	第5クォーター (4月～6月)	水曜	6・7限	露木真也子
専門	6	医療介護の制度経営	<p>わが国における医療介護すなわちヘルスケアのサービス消費規模は60兆円に至っており、このうち社会保障制度で提供されるものが55兆円規模に上る。その経営すなわち医療介護のヒト・モノ・カネ・情報のやり繰りなるものは、行政が担う医療介護提供体制を持続させるものであり、制度経営である。本授業では、この医療介護の制度経営を説明する。具体的には、国ごとに異なる医療介護サービスの事業成立の社会的背景の違いを説明し、わが国の場合、医療介護サービス提供者の経営を持続させるために設けられる社会保障諸制度の成り立ちや運営の特徴について説明するものである。内容は自著テキスト『ソーシャルビジネスとしての医療経営学』前編「医療・介護の経営原理」が中心となる。そして授業では、週日は職に就いていて勉強時間が限られる社会人学生の学びの生産性を上げられるように、テキストの内容についてスライドのアニメーション機能を効果的に使ったコンテンツを準備し、文章と図表と語りで構成する緊張感のある一期一会の学びの機会を準備するとともに随時ディスカッションも交える。これにより講義時間内に学びを進めるとともに、さらなる学びの掘り下げのための自発的な復習を促す動機付けを目標とする。 なお本授業では、医療介護の制度・政策分野の専門家をゲスト講師に招いて最近の制度経営事情を学ぶ機会を設ける。</p> <p>【履修条件】 2022年度の「医療介護経営序説」の単位を既に取得しておく必要がある。 「医療介護の事業経営」の履修には本科目の単位取得が履修条件となる。</p>	2年	2	第5クォーター (4月～6月)	木曜	6・7限	西田在賢
専門	7	特別研究B(IoT社会のビジネス創造)	<p>本授業では、IoT (Internet of Things) がどういうものであるのか、その考え方を理解することを第一の目的とする。また、技術の細かなところにあまり入りすぎないように気をつけつつも経営者として知っておきたいレベルの技術を学ぶ。IoTを利用したどのようなサービスが存在するのかを調査した上で、実装や実現をイメージしつつIoTを利用したサービスを自分で考案してもらおう。 なお、当該分野は教科書となるような書籍が存在しない。参考文献に挙げた書籍や授業内で提示する動画や資料に触れることでIoTの全体像をつかんでもらいたい。参考文献の購入は必須ではないが、図書館で借りるなどして可能な限り目を通すことを勧める。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 ・私語厳禁。質問や疑問、意見など授業に関連することであれば手を挙げみんなの前で発表すること。私語ではないクラス全体を巻き込む積極的な発言を望む。 ・授業資料の配布や諸連絡はMicrosoft Teamsを使用する。 ・授業内でインターネットを利用した情報検索・整理をすることも可能であればノートコンピュータを持参すること。タブレットやスマートフォンの利用も認めるが、作業効率の観点からノートコンピュータの利用をお勧めする。</p>	2年	2	第5クォーター (4月～6月)	土曜	1・2限	土本康生
専門	8	持続可能な自然資源マネジメント	<p>地域資源のマネジメントについては、市場のグローバル化のみならず、近年多発する自然災害および生物多様性の変化、そしてそこに暮らす住民のライフスタイルにより大きく左右される。地域経済の活性化においては、持続可能性(Sustainability)を重視する経営体の成長が必要不可欠となっている。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 「社会問題の分析」「解決策としての事例」「地域再生への影響評価」という一連の手続きを、地域資源マネジメントの切り口で分析する。そのため普段から日本の里地・里山・里海・里川について、その現状と課題、成功事例および失敗事例の特徴、プロダクト及びサービスの現状について関心を持って調べ、議論に参加してください。授業での話し合い・進行により、予定を変更する可能性があります。</p>	2年	2	第5クォーター (4月～6月)	土曜	3・4限	吉川成美

## 令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
基礎	9	ファイナンス基礎	<p>ファイナンスとは、金融市場に関わるあらゆる人々に対して意思決定を支援するために構築されてきた。MBAでは、主としてコーポレートファイナンス(該当科目「ファイナンスA」「ファイナンスB」)を扱うが、ファイナンスに共通する基本的な知識及び考え方がある。</p> <p>「ファイナンス基礎」では、これまでファイナンスを勉強したことがない人やファイナンスを最初から学び直したい人等の初学者を対象に、上記したファイナンスに共通する基本的な知識及び考え方をしっかり丁寧に勉強する。ファイナンスの基礎を固めることを重視する。そのため、中間試験及び期末試験に対する成績評価の割合が大きい。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 初学者に向けていくつか参考文献を紹介する。 新書であれば、石野雄一『ざっくり分かるファイナンス』(光文社、2007年)、森生明『会社の値段』(筑摩書房、2006年)が、昔からよく読まれている。著書では、新倉祐介『ファイナンス思考』(ダイヤモンド社、2018年)、同『ゼロからわかるファイナンス思考』(講談社、2022年)はよく出来ている。担当教員が関わった著書である『知識の基盤になるファイナンス』(共著、中央経済社、2018年)も参考になる。なお、授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p>	1年	1	第2クォーター前半(6月～7月)	木曜	6・7限	高橋陽二
基礎	10	アカウンティング	<p>企業を取り巻く環境や市場が著しく変化する現代社会において、企業が存続・成長していくためには、企業の経営成績および財政状態の正確な分析と迅速な意思決定が必要となります。</p> <p>本講義においては、会計の専門的な知識を身に付けるのではなく、経営者やプロジェクトマネージャーとして、経営戦略の策定や意思決定を行う際に必要とされる最低限のアカウンティング能力を身に付ける事に主眼を置きます。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 授業は電卓を利用する機会があります。※シンプルな機能の電卓で構いません。授業中、随所で自分の意見を述べてもらう機会を作ります。いつ発言を求められても良いように、常に考えながら授業に臨んで下さい。</p>	1年	2	第2クォーター(6月～8月)	土曜	3・4限	中川隆喜
応用	11	戦略としての社会システムデザイン	<p>「社会システム・デザイン」は新しい戦略立案手法である。従って、基本的な戦略の考え方と立案には共通点がある。最初に「社会システム・デザイン」が重要であると考えた時代背景とアプローチの枠を説明し、続いて通常の戦略立案との共通部分を、伝達の規律と方法を含めて理解を促す。</p> <p>その後、「社会システム・デザイン」の例をいくつかを議論し、Abductiveなアプローチ、中核課題の発見、サブシステムの考え方等の事例を議論する。</p> <p>そして、その作業を支えるプロフェッショナルの考え方を説明し、「社会システム・デザイナー」の職能を考える。</p> <p>最後に、最近の急速な技術の展開とそれに影響される人間観のパラダイム・シフトというべき変容の仮説を提示、それに応じた「社会システム・デザイン」の修正の必要性を説明する。</p> <p>講義と平行して「社会システム・デザイン」の演習を行い、講義だけではわからない「身体知」の獲得の実践をおこなう。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 経営戦略は学問というより高度技能であり、「身体知」であるから、単に頭での理解ではなく具体的に手を動かして、いわば、体全体で理解するようにする。 (※授業外にデザイン作業が必要となる予定です。)</p>	1年	2	第2クォーター(6月～8月)	水曜	6・7限	横山禎徳
専門	12	医療介護の事業経営	<p>わが国における医療介護すなわちヘルスケアのサービス消費規模は60兆円規模に上る。医療業の収益規模はわが国国民皆保険制度下の総支出額となる国民医療費だけでも43兆円に至り、また2000年以前には高齢者医療費としていたものを肩代わりする介護保険制度の総支出も既に12兆円を超える。すなわち医療介護サービスは社会保障制度で提供されるものだけでも55兆円を超える国内最大のサービス産業である。一方、病院、診療所、調剤薬局などの医療提供施設や介護サービス事業者の数は多く、個々の事業規模はさまざまであり、また医療介護は複合サービス事業として展開されている。このような特徴を持つわが国の医療介護事業では、近年、専門的な経営の取り組みが不可欠となっている。本授業では、わが国の社会保険制度下における医療介護機関の存在意義を念頭に置き、「なぜ専門的な医療介護の事業経営が必要なのか」の説明に続いて、病院事業者がサービス提供全体のおおよそ半分の30兆円規模と推計されることを念頭に病院の財務会計、管理会計、経営分析などについて説明する。内容は自著テキスト『ソーシャルビジネスとしての医療経営学』後編「医療・介護の事業経営論」が中心になる。そして授業では、週日は職に就いていて勉強時間が限られる社会人学生の学びの生産性を上げられるように、テキストの内容についてスライドのアニメーション機能を効果的に使ったコンテンツを準備し、文章と図表と語りで構成する緊張感のある一期一会の学びの機会を提供するとともに、ディスカッションを中心とした演習を用意する。また本授業では、ヘルスケア事業の専門家をゲスト講師に招いて昨今のビジネス事情を学ぶ機会を設ける。</p> <p>【履修条件】 2023年度開講の「医療介護の制度経営」の単位取得が履修条件となる。</p>	2年	2	第6クォーター(6月～8月)	木曜	6・7限	西田在賢

令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時間	担当教員
専門	13	特別研究G(スタンフォード大学連携科目2)	<p>イノベーションを生み出し新規創業の担い手となる人材の育成が国や組織の課題となるなか、また新型コロナウイルスのパンデミックにより世の中の不確実性が増す現在、新しい視点や着目でこれまでにない価値を生み出せる人材の育成が求められています。そこで注目されているのがアントレプレナー(起業家)教育です。</p> <p>本講義では、受講者とシリコンバレーなど国外で活躍する人材をつないで交流を促進し、参加者全員が起業をめぐる新しい知識を蓄積する場を提供します。シリコンバレーで活躍するアントレプレナーから、起業に至るまでの具体的な話を伺います。ビジネスの中核を担う技術やサービスの概要に続けて、起業家としてのアプローチやビジネス哲学などを絡めた講義をいただき、続けて受講生が自由に質問したり発言できる時間を設けます。授業後半では起業する人材に共通するマインドセットを主軸に学生がグループワークを行います。</p> <p>本講義は、スタンフォード大学の学習管理システムCanvasを使って実施されます。受講生はCanvasのサイトから各回の講義に必要な連絡事項・課題などをチェックし、事前学習を目的とした教材(文献・動画など)にアクセスし、オンライン・ディスカッションに参加します。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 シリコンバレーで活躍する人材と直接交流する貴重な機会です。ネットワーク、視野、そして世界観を広げるつもりでぜひ積極的に質問・発言をしてください。ディスカッションやグループワークにも自主的な姿勢で臨んでください。そのためには事前課題にきちんと取り組むことが求められます。Canvasの情報をこまめに確認してください。</p>	2年	1	第6クォーター(隔週) 6/17, 7/1, 7/15, 7/29	土曜	1・2限	吉川成美 土本康生 磯貝日月
専門	14	医療介護のイノベーション	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大によってわが国の医療制度の大きな課題が浮かび上がることになった。それまでわが国では国民皆保険制度を維持するために医療従事者に多大な負担を強いてきたが、そのことがコロナ禍の医療提供体制をひっ迫させることになったからだ。病床数の多さではなく、役割分担や集約化できない医療従事者数や制度の課題が新型コロナウイルス感染症の急速な拡大によって浮かび上がることになった。</p> <p>また、コロナ以前から課題となっていた公立病院や公的病院の統廃合についても思うように進展していない。政府としては、待ったなしの人口減少社会においてその対応策を急がなければ、わが国の医療提供体制がこれまでに以上に歪みを生じさせることとなり、超高齢社会を乗り切ることが困難になりかねないとの危機感を持っている。</p> <p>このような状況下で、わが国では地域医療構想、医師の働き方改革、医師の地域偏在化の是正が同時並行で推進されている。だが、いずれの課題も容易に解決策を見出すことができないことから、期限が迫った中で手探りの状態が続いている。</p> <p>一方、わが国において政府の後押しを背景にして医薬分業が急速に進展してきた。最近では、大学病院や公立病院など地域の基幹病院の敷地内薬局が急増し、ドラッグストアなども調剤事業を拡大し、競争環境も変化している。</p> <p>しかし、医療関係者だけではなく国民からも現在の医薬分業のあり方について疑問が投げかけられ、調剤報酬改定などでは急成長を続けてきた調剤薬局は、厳しい対応を余儀なくされた。さらには新型コロナウイルス感染症の拡大によって門前薬局やマンツーマン薬局が厳しい経営を強いられることになった。</p> <p>わが国でも医療介護分野においてデジタル化の波が急速に押し寄せている。待ったなしの人口減少社会が到来する状況下においては、デジタルをいかに有効に活用し、医療や介護の質を上げ、経営の安定化につなげることができるかが大きな課題解決につながるようになる。デジタル化の進展は、医療介護分野へ異業種企業の参入を可能にすることでもある。すでにグーグルやアップルなどさまざまなデジタル企業が市場参入しており、医療介護分野に多大な影響を及ぼすことが予想される。</p> <p>以上のことから授業では今後、すでに示された政策や新たな動きがどのような方向に向かい、医療・介護施設、薬局がどのように変化することになる、あるいは医療・介護施設に代わる新たな施設が生まれている事例などを提示しながら実施する。その際、場合によっては関連する政策や事業に詳しい専門家をゲスト講師陣として招き、今後の展望について講師とともに討議することで自身の学びを深けてもらうことも検討する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 医療及び介護施設の経営や市場分析に関心があり、今後の変化を体系化することに関心を持っていることが望ましい。</p>	2年	2	第6クォーター(6月~8月)	土曜	3・4限	遠藤邦夫
専門	15	地域ブランド戦略	<p>持続可能な社会を形成するためにも、地域活性化やまちづくりに地域ブランドは不可欠な要素になってきている。また地域ブランドが確立された地域での起業は事業環境的に発射台が高く、スタートダッシュがしやすい状況になる。本授業では、社会的課題を捉え、官民が連携し、地域力を高める事業を創造するための考え方やアプローチ方法を事例を通して理解を深めることを目的としている。国内の地域ブランド戦略のケーススタディを通して、多角的かつ実践的に学びながら、ビジネスリーダーに求められる戦略立案力を身につける。授業の最後には、地域ブランド戦略を立案し、プレゼンテーションを行う。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 地域ブランド戦略の第一線で活躍するゲスト講師を迎えて実践的な授業を行う。</p>	2年	1	第6クォーター前半(6月~7月)	水曜	6・7限	梶野孝人

令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
専門	16	デザインマネジメント	<p>感性的価値の重視を背景に、デザインへの関心は高まりつつある。デザインに対する関心は、モノの外観の美しさといった、狭義のデザインにとどまらず、サービスのデザイン、関係性のデザイン、システムデザイン、プロセスデザインなど多岐にわたっている。矛盾する要素、異なるニーズを統合し、目に見えるかたちで問題解決を行うというデザインの基本機能は、ビジネスにも積極的に導入されている。</p> <p>本授業では、現代社会に求められている「デザイン」の機能とビジネスにおけるデザインマネジメントについて事例を通して理解を深めビジネスリーダーに求められるデザインマネジメント力を身につけることを目的としている。授業の最後には、デザインマネジメントのプレゼンテーションを行う。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 異なる分野の第一線で活躍するゲスト講師を迎えて実践的な授業を行う。</p>	2年	1	第6クォーター後半 (7月～8月)	水曜	6・7限	百武ひろ子
専門	17	特別研究H(医薬流通のイノベーション)	<p>これまで成長を持續してきた日本の製薬企業もグローバルな競争環境下において厳しい経営を強いられている。新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発では大きく出遅れてしまった。海外の大手製薬企業との開発力の差を見せつけられた。その中で中国の製薬企業の開発力も侮れなくなっており、日本の製薬企業も厳しい戦いを強いられている。</p> <p>これまで一定の成果を挙げた国内大手・中堅製薬企業各社は、低分子医薬品開発から抗体医薬、分子標的医薬品、遺伝子治療薬の開発へとモダリティ(治療手段)を重視した開発へと大きく舵を切ることになった。そのため研究開発のあり方を独自開発からオープンイノベーションへと移行することになった。それに対して外資系製薬企業は国内製薬企業に先んじて時代変化に対応した研究開発体制を整え新薬を次々と市場に投入し、日本市場においてその存在感を高めている。そのような外資系企業の中には自社の都合に適合した流通に変えようとする動きが出てきた。このような動きは、現時点ではどこまで拡大するかは不明であるが、今後の医薬品サプライチェーンのあり方に影響を及ぼすことになる可能性がある。さらに新型コロナウイルス感染症の世界的規模での拡大により、これまでの世界規模での医薬品サプライチェーンのあり方も経済安全保障の観点からも早期に見直しを行う必要が急務となった。</p> <p>一方、20世紀の製薬・医薬品卸業界のビジネスモデルは、医療提供体制や医薬品使用のあり方、薬価制度などが大きく変化している状況下で、見直しを迫られている。そのため21世紀の業界の事業のあり方は、その時代にふさわしいプレーヤーによって新たな市場が形成されることになる。医薬品サプライチェーンにおける主要プレーヤーとして医薬品卸が挙げられるものの、デジタル治療の進展やスペシャリティ医薬品の急増などにより、新規に参入する企業がその存在感を高める可能性がある。もし医薬品卸がこれまでの事業のあり方を大きく変革することに躊躇するようであれば、その間に新たな勢力が台頭し、市場の勢力図を大きく塗り替えてしまいかねない。</p> <p>また、日本においても多くのデジタル関連企業がヘルスケア事業にさまざまな形で乗り出している。それだけ異業種企業はヘルスケアに関する事業を有望視している。だが、それらの企業の多くは医薬品卸との関係が希薄である。しかしながら医薬品卸が持ち合わせていないデジタル技術を有する異業種企業は、医薬品卸各社が将来の経営体質強化のために構築しようとしているヘルスケアプラットフォーム構築においては不可欠な存在となっている。そのため大手医薬品卸はさまざまなデジタル企業に対して提携や資金提供などを行い、事業化に向けて動き出している。</p> <p>そこで授業においては、日本の医薬品及び医療機器等サプライチェーンの変革状況、さらにはそのような状況下で医薬品卸が事業を持續するためにどのような経営を展開しているかということについて実状を踏まえて講義する。加えてそのことを補完するために関連する企業経営者もしくは幹部を招いて討議し、その過程で自身の学びを深くしてもらいたい。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 医薬品サプライチェーンやデジタル治療などヘルスケアの幅広い分野に平素から関心を持っている、あるいはすでにこのような分野に関わっていて問題意識を持っていることが望ましい。</p>	2年	2	夏季集中 (8月～9月) 8/5 8/19 8/2 9/2 9/9(3,4限) 9/10 9/16(3,4限) 9/17 9/9, 9/16 以外は1・2限	集中	1・2限	遠藤邦夫
基礎	18	ベンチャーの経営戦略	<p>まずは、そもそもの現代社会の資本主義経済での成長とは何かを一緒に考えることから始め、ベンチャーのライフサイクルやベンチャーの実際について知識として学ぶ。次に、未来の事業機会をつかむための鍵となる動向するユニコーンの事例研究や第四次産業革命と背景となるテクノロジーの解釈や自主研究を行い、これらの活動をともにグループ分けしたワークショップで疑似的起業活動に入る。ワークショップでは着眼セッションを実際のベンチャーコミュニティでのアプローチ手法を利用して取り組み、仮説を分散させ、論理的に取れんしつつストーリープロトタイプングを通して検証することによって一つの有望な事業仮説とビジネスモデルに落とし込む。ベンチャーの経営戦略において基本となる戦略やマーケティング、ビジネスモデル、ファイナンスのエッセンスは講義と自習を通して主体的に会得する。また、現在進行形のベンチャーコミュニティで活躍するアントレプレナーやベンチャーキャピタリストなどのゲストスピーカーとの交流を通じて生の現場からのインスピレーションと示唆を得る。これら全体がシナジーをもって融合することでベンチャーを左脳と右脳と心とともに体得する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 自ら起業を目指す者、家業の継承発展を目指す者、組織の中にあって革新的な事業開発を目指す者を主に対象とする。未知の未来の新しいビジネスの可能性を、楽しみながら本質的に考え抜き、仲間と共に議論を尽くしながらとことん追求する、意志を持った好奇心に溢れる人財の参画を望む。パソコンやスマホはワークショップ中に利用するので必携とする。</p> <p>【履修条件】 「ファイナンス」「マーケティング」「ビジネスモデル」「事業戦略(経営戦略)」の履修や(自主学習を通じた)修得を推奨しますが、事前履修を条件とするものではありません。</p> <p>【履修に当たった際の注意事項】 常識に囚われない新しいビジネスやイノベーションに対して強い好奇心を持っていることを履修、参画の前提とします。ワークショップへのコミットメントを求めます。</p>	1年	2	夏季集中 (7月～9月) ※日程調整中	集中		古我知史

## 令和5年度前期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
専門	19	特別研究D(マネジメントアカウント)	<p>アカウントの基礎を学んだ履修者が、マネジメントアカウントのツールを活用し会社の経営を数値で見えていくことを学ぶ。特に、見るべき数値が事業のビジネスモデルにより異なること、事業のビジネスモデルとリスクを理解し事業に則した数値管理の手法を適用していくことを実例を踏まえ学ぶ。また、多くの財務諸表を見ていくことで、コース終了時に経営を会計と結びつけて見る力がついていることを目指す。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 基礎科目におけるアカウントの単位の取得し、マネジメントにアカウントを活用することに興味を持っている学生が対象。授業への積極的な参加、発言、質問を期待する。本講義の内容や講義内で紹介する業種、事例を通じ、数字、特に会計数値で経営を見ることが経営に資することを学び、修了後の実務に活かせる知見の習得を目指す。(実務経験者による案件説明等も行う予定)受講者がテーマを決め期末レポートを作成し講義最終日にプレゼンテーションを行ってもらう。</p> <p>【履修条件】 アカウントの単位取得が前提となります。</p>	2年	2	夏季集中 (8月～9月) ※日程調整中	集中		七田良彦
専門	20	アジア型環境ビジネス創造	<p>アジア諸国の範囲は広く、国・地域によって成長速度は異なるものの先進国を上回る成長率の高さに注目が集まっている。各国・地域が持続可能な発展を目指し、環境ビジネスの技術とマネジメントによりそれぞれの抱える課題をどのように克服しているのか、さらには世界経済を牽引する潜在性について具体的な事例をもとに実践を学び、各動向を分析する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス・禁止行為等)】 ・取り扱うアジア各国のケーススタディをもとに、「社会問題の分析」「解決策の立案」「解決策の影響評価」という一連のプロセスを事例ごとに分析する。そのため普段から海外ビジネスにおける日本企業や国際協力団体の存在意義や動向、プロダクト及びサービスの現状について関心を持って調べ、議論に参加してください。 ・お呼びする専門家・実務家のスケジュール調整の結果、取り扱う国やテーマが変更、回が前後する可能性があります。また、アンケートやワークショップの結果などから予定を変更する可能性があります。変更については初回の授業で説明します。 ・授業はデュアル方式を予定していますが、ゲストスピーカーと海外から繋いだり、県外からの移動の都合によってはオンラインのみの実施の可能性があります。各回の実施方式について初回の授業で説明します。</p>	2年	2	夏季集中 (8月～9月) ※日程調整中	集中		磯貝日月

※ 表中の授業の概要及び開講時期(日程)は変更することがあります。

※ 各科目の開講日時は決定次第、公開(更新)します。